



イマジン
ロータリー

2022～2023 年度
国際ロータリーのテーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

◆例会日/週木曜日 12:30～13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
◆会 長 / 加藤 輝男 ◆副 会 長 / 朝倉 俊次
◆幹 事 / 鴨下 直哉 ◆広報・情報委員長 / 望月 完

NO. 1574 令和5年6月29日



◆点鐘	加藤 輝男 会長
◆SAA	小山 等 委員長
◆ソング	我等の生業
◆ビジター	樽澤 清子 君(小諸RC)

【会長挨拶】加藤 輝男 会長

皆様ご苦勞様です。
今日は最後の会長挨拶となりました。また、戦争の話をして申し訳ありません。新聞の一面記事を見て思いのままを書き込んでしまうのですが先日ロシア内部で武装反乱がありました。反乱を起こしたのは民間軍事会社のワグネルの創設者プリコジン氏です。

このプリコジン氏、ウクライナ東部の激戦地でウクライナ領土のバフムトを制圧し、今度はモスクワに向けて北上を続けロシア南部でロシア軍と衝突内戦の様相すらうかがえた。

ようはプリコジン氏が訴えたかった事はロシアの為にこんなに一生懸命尽くしても、我々の事をあまり評価してもらえなかったと言う事なのではないでしょうか。でもロシアという国はもともと独裁国家なので一人の独裁者の意見を絶対服従しなければならないのではないのでしょうか。そんな内戦があるという事はどこかに不平不満があるからだと思えます。これを期にロシアとウクライナの戦争を早く終決させる方法が一番良いのではないのでしょうか。是非一日も早くこの無駄な戦いを終わらせて下さい。全世界の国民が願っていると思えます。

それでは最終回になりますが池上彰さんの本物の教養「行動経済学」。今日はなぜあぶく銭ほど散財してしまいがちなのか、これを話して行きましょう。

ギャンブルで儲けたお金をしっかり貯蓄に回したと言う話はあまりききません。宝くじで当てたお金も同じでしょう。労せずして手に入れたお金は惜しげもなく散財してしまうのがどうやら普通ようです。これは「ハウスマネー効果」と言います。このハウスとはギャンプリング・ハウスすなわち賭博場の事を意味しています。

一方自分でしっかり働いて稼いだお金はそうした使い方をあまりしません。自分で稼いだ10万円も競馬で儲けた10万円も同じ10万円のはずです。にも関わらずこうした違いが生まれるのはなぜなのでしょう。

実は普段私達はお金について心の中で無意識のうちに使う用途に応じて仕分けしています。これは生活費、これは貯蓄に回す分と言う具合です。この行動を「メンタルアカウンティング(心の会計)」と言います。苦勞せずに得た臨時収入やギャンブルで儲けたお金はこのメンタルアカウン

ティングによって「散財しても良いお金」として処理されてしまいます。

つまり、10万円であっても苦勞して得たかそうでないかによってその価値は一樣ではないと言う事です。

【幹事報告】鴨下 直哉 幹事

- 第8回日台ロータリー親善会議台北大会案内
日時 10月20日(金)
会場 台北萬豪酒店
- 上沢広光ガバナーより挨拶状
- 次期地区会員増強委員会、金児 進委員長より会員セミナー報告
- 第30回インターアクト地区大会礼状
- 次期東信第一グループ羽毛田 匡ガバナー補佐より「ポリオデーイベント・歩行ケア市民セミナー」打合せについて
日時 7月14日(金)16:00～17:30
場所 佐久グランドホテル
- 諏訪湖ロータリークラブより事務局住所変更について
7月より クラブ事務所 ライフプラザマリオ内
〒394-0081 岡谷市長地権現町3-2-45
- 例会変更

軽井沢RC	7月10日(月)	定刻受付あり
	7月17日(月)	定刻受付なし
	7月31日(月)	定刻受付なし
佐久コスモスRC	7月10日(月)	定刻受付なし
	7月17日(月)	定刻受付なし
	8月7日(月)	定刻受付なし
	8月14日(月)	定刻受付なし
上田六文銭RC	7月11日(火)	定刻受付なし
上田西RC	7月27日(木)	定刻受付なし
	8月17日(木)	定刻受付なし
	8月24日(木)	定刻受付なし
佐久RC	7月27日(木)	定刻受付なし
- 週報
千曲川、丸子RC
・7月6日(水)プログラム「新役員方針抱負」次年度会長・副会長・幹事の皆様は原稿をご用意の上ご出席お願い致します。

・例会終了後現及び次期合同臨時理事会

【本日の配布物】

週報 1573 号

◆出席報告 黒澤 明男 委員

会員数	22名	出席義務者	22名	免除者	0名
本日		出席	16名		
		事前 MU	0名	72.73%	
前々回(6/8)		MU	0名	72.73%	

◆ラッキー賞

NO.13 望月 完 君

◆ニコボックス 矢島 栄一 委員

樽澤 清子君 (小諸RC)	先週は加藤会長に小諸RCにお出で頂きありがとうございました。次期10月1日に小諸RC60周年記念式典を音羽にて行います。皆様のご参加をよろしく願います。一年間お世話になりました。ありがとうございました。
加藤 輝男君	会長職、今日で降りますが一年間ありがとうございました。
鴨下 直哉君	一年間ありがとうございました。
小池平一郎君	加藤会長始め役員の皆様ご苦労様でした。小諸RC樽澤会長一年間ご苦労様でした。
黒澤 明男君	加藤会長一年間ご苦労様でした。
前田 博志君	樽澤会長、ご苦労様でした。加藤会長、ご苦労様でした。
小林 秋生君	加藤年度最後の例会です。切替えて来週は新年度例会です。これからの会のいやさかを祈ります。

倉本 浩行君	樽澤会長、加藤会長始め役員の皆様お疲れ様でした。
橋詰 希望君	加藤会長、鴨下幹事始め役員の皆様お疲れ様でした。渡辺頼雄さんに感謝する会企画しました。ご出席下さい。
青松 英和君	加藤会長、樽澤小諸RC会長お疲れ様でした。鴨下次期会長一年間頑張ってください。
川野 義春君	加藤会長、鴨下さん三役の皆様一年間ありがとうございました。結婚祝の蘭の花が届きました。とても綺麗で玄関に飾らせて頂き、毎日眺めています。ありがとうございました。来期も出席出来る様に頑張ります。
小山 等君	加藤会長、鴨下幹事、樽澤会長一年間お疲れ様でした。
望月 完君	本日、小諸RC樽澤会長よりラッキー賞を引いて頂きありがとうございました
矢島 栄一君	役員の皆様には一年間大変お疲れ様でした。次回就任までごゆっくりお休み下さい。

【本日のプログラム】 「年度を顧みて」



加藤 輝男 会長

今回、この会長職を降りる事は本当に肩の荷が降りたと言う感じです。皆様には私の至らなかった時に色々助けて頂き、本当にありがとうございました。

一年を振り返ってみますと令和4年8月には八幡宮八朔相撲の土俵づくりがあり、6名の会員の皆様と土俵作りから土俵の整備、神社廻りの草取りと12時少し前に終わり、皆様良い汗をかいたと思います。

9月に入りすぐガバナー補佐事前訪問があり、ガバナー補佐と補佐幹事の二人で訪問され、私達は会員7名でお迎え致しました。大久原 巧ガバナー補佐の挨拶の中で私達もコロナの為、休会が多く大変苦労をしているとの事でした。

9月15日はガバナー公式訪問で国際ロータリー第2600地区上沢広光ガバナーと須坂五岳RC中野俊幸様、三原昌桂様、大工原 巧ガバナー補佐様からのご挨拶がありました。

11月5日・6日は国際ロータリー第2600地区の地区大会が千曲市で行われ、5日には私と小林秋生会員の2名が

出席、ガバナー紹介、挨拶と夕方終わり、その後上山田温泉のホテルで宴会が盛大に行われました。昔懐かしい芸者さん、コンパニオン、そして舞台での踊りの披露と大変楽しいひと時を過ごさせて頂きました。6日は私と小林秋生会員、黒澤明男会員、小池平一郎会員の4名で参加致しました。総会員800名近く参加したと思います。

特に記憶に残った事は米山奨学生の挨拶の中でロータリアンの皆様からいつも援助を受け、助けて頂いた、今後は日本の企業に就職をして恩返しをして行きたいと語っていました。

ニュースキャスター解説者として幸坊治郎さんの講演があり、この方はヨットで太平洋横断を二度された話をされました。一回目は成功したのですが二回目の横断の時、太平洋上で何か大きな物体に当たり船が沈没しそうになった時、救命ボートに繋がれた一本のロープの最後の所にコブがありそのコブが手の握りこぶしの所に引っ掛かり一命を取り止めたそうです。そのコブが無かったら今頃私はこんな所で講演なんてしていなかったでしょうと切実に訴えておりました。

11月10日は職場訪問があり、鴨下幹事さんの自動車解体業・リサイクル部品の販売をしております、スリーアール長野様を訪問し、色々見学させて頂きありがとうございました。

11月17日は待ちに待った夜間そば例会。小林秋生会員と矢島栄一会員の超一流のそば打ち名人2名がそばを打ち、打ち立てのそばをゆっくり味わいさせて頂きました。とても美味しかったです。お土産に蕎麦も頂き本当にありがとうございました。

12月、私はコロナ感染してしまい、クリスマス夜間例会に出席できずすみませんでした。この時、黒澤明男会員も感染していた様です。この感染力凄いなと思いました。

令和5年に入り、1月26日に新年会を兼ねた夜間例会を会員の皆様と今年の抱負を語りながらの一杯、大変楽しい新年会でした。

2月に入り青松英和会員の自己小伝をはじめ小林秋生会員、矢島栄一会員、前田博志会員、黒澤明男会員の自己小伝を聞く事が出来ました、ありがとうございました。そして3月に入り創立夜間例会で小諸高校音楽科、吹奏楽が3年振りに演奏され、校長先生はじめ2名の先生も出席して頂き楽しく過ごさせて頂きました。

3月9日、プロ野球のWBCの試合が始まりました。日本は栗山監督をはじめ全選手が自分の持てる力を十分に発揮して日本を優勝に導きました。この試合、危ない試合もありましたが、これは全員野球の優勝だったのかなと思いました。大谷選手も素晴らしかったです。

5月に入り小諸ライオンズクラブ結成55周年記念式典・祝賀会に招待を受け出席させて頂きました。参加者約120名位来賓され、政治家の皆様はじめ富山県姉妹都市でもある滑川市長さんも来賓。アトラクションとして小諸大浅間火煙太鼓の大迫力ある太鼓の音は私達の腹の奥底まで響き渡り強烈な印象を与えました。我々小諸浅間RCの記念式典にはもっと素晴らしいアトラクションがあるのかなと期待したいと思いました。

そんな事でやっと会長職最後の6月29日になりました。一年を通じてロータリークラブのこの大組織は素晴らしいものがあると感じましたし会長の仕事の進め方とかその役割が最近ようやく理解出来て来たのかなと思っております。そしてロータリークラブに入会して以来、他のクラブの会員さんとの交流があり、沢山の会員さんと友達になれた事、本当に有難く、感謝致しております。

この一年皆様に助けられ、仕事の面ではちょっと疎かになってしまいましたが、それ以上の満足が得られた事、色々勉強させられた事、これらは会長職に就いて見ないと解らない事だったのかなと思いました。

次期会長、私以上に頑張ってやって下さい。期待しております。本当に皆様一年間ありがとうございました。



鴨下 直哉 幹事

皆さんのお陰で充実した一年間を過ごすことができました。自分が何をしたかでは無く皆さんと一緒に出来たという感が強いです。幹事就任時に、「できる事」と「やらなければならない事」をやっつけようという決意をしました。その大きな一つが、「交流」です。

しかしながら、コロナ禍で制約も多かったのも事実です。徐々に通常の時間に戻しての例会へ

充実したものになりました。ロータリー活動にとって「交流」がいかに大切であるかを痛感した次第です。去年の7月より今の方が良くなった。

皆さんに「近づけた」という自信がございます。いろいろなことでコミュニケーションがとれたと思います。来年度も皆様のさらなるご協力をお願いいたします。皆様、一年間ありがとうございました。心より感謝申し上げます

会員増強委員会 前田 博志 委員長



今期、倉本泰志さん、依田常広さん、2人の入会を得ました。二人とも私がスポンサーでもあり、素晴らしい人格で、嬉しい限りです。総括として、胸を張りご報告するところだと思っておりました。ところが、この一か月で、3名の方から退会届が出ました。とうとう会員数20名の大台を割ることになり、本当に落胆しています。

会員の高齢化により、退会者のこれからの増加を見据えると、もっと多くの新会員の入会を望まないで総勢の減少を食い止めることが出来ません。啞然とします。来期は、望月完新委員長の元、更に頑張りたいと思います。皆様の一年間のご協力に感謝します。本当にありがとうございました。

クラブ広報・情報委員会 望月 完 委員長



一年間のクラブ広報・情報委員会を振り返ってみたいと思います。先ず、年度初めに掲げた活動目的についてですが、コロナ禍も大分落ち着いたとはいえ思うようにはできませんでした。例会開催での任務については委員の皆さんにご協力頂き、ほぼ問題なく出来たと思います。

地域社会にロータリークラブの活動情報を発信する。社会貢献をアピールする。地元の新聞社、メディアを通じて積極的に活動する。以上の活動については、上手く出来ませんでした。コロナ禍を理由にして活動を厳かにしてしまった感が、あります。私と一年間、活動を共にして下さった委員の皆さんに感謝し、挨拶と致します。本当にありがとうございました。

クラブ運営委員会 小山 等 委員長



クラブ運営委員会の一番の活動である例会は、いつも和気あいあいとした楽しい親睦の場に出来たのではないかと思います。怪我や病気、職業奉仕の関係で当番者が欠けて、代理の人を選出できず、受付が不在という事が度々ありました。

そのような恥ずかしい状態が無いように考えなければいけなかったと反省しております。

そういった事の積み重ねが出席率低下の原因の一部になっているかもしれませんので、クラブ運営委員会にも責任の一端があったかと思えます。

それでも怪我や病気から復帰され方か戻って来られた例会ではその再会に皆様大変喜ばれて、談笑する姿をそこかしこで拝見出来たので、委員会としては良かったなあと思えました。

やり残し

親睦行事については、コロナウィルスの活動も落ち着いてきておおむね当初計画通りに夜間例会等を実施出来ました。唯一叶わなかった家族親睦旅行は、次年度に素晴らしい計画がありそうですので、そちらに期待したいと思います。

一年間、大過なく例会を開催出来たのは加藤会長のお人柄に拠る所が大きく、池上彰さんの講座は私達経営者にとっては大変参考になるお話でした。会長、そして会員の皆様、一年間ご協力頂きありがとうございました。

出席・プログラム委員会 青松 英和 委員長



今期もクラブの活動はコロナ禍の騒動で大きな影響を受けました。しかしワクチン接種の普及等防疫体制の強化により今年に入り、コロナ禍による混乱も少しずつ落ち着きを取り戻してきたように思います。

そういう状況の中で、出席・プログラム委員会が目標に掲げた前委員会のやり残した

「自己小伝」の企画の消化と、コロナ禍の時代に生きる会員の皆様の想いを話していただくという目標は不十分ながら取り敢えず達成できたかなという思いです。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。



奉仕プロジェクト委員会 両川 博之 委員長

昨年、7月より委員長を務めさせて頂きました。本年度はようやく、コロナが下火傾向になり、昨年8月頃に1度感染拡大があり、一か月位の休会が在りましたが、その後感染が収束傾向となり社会活動もようやく活発になりつつあります。

本委員会の奉仕活動についても、10月、6月には飯綱山公園の草刈りを、予定通りに開催

することができました。参加頂きました会員各位には感謝申し上げます。

職業奉仕賞の表彰については、本年も該当なしとなりました。

また、11月には職場訪問と言うことで、当クラブ鴨下直哉会員の事業所、スリーアール長野さんにて開催できました事、また、工場内を案内、説明して頂き鴨下会員には改めてお礼申し上げます。

1年間、何とか勤めましたが、各委員会員の皆様、また事務局の掛川さんなど皆さんの協力の元に何とか終わる事になりました。ありがとうございました。



ロータリー財団・米山記念奨学会委員会 黒澤 明男 委員長

当委員会は掛川興太郎、小池平一郎、橋詰希望、小山等会員、4名の委員でコロナ禍、活動が制限される中、財団、奨学会の目的と意義をふまえて活動を致しました。

12月15日例会はベトナムから留学しているグエンティタン・チュックさんに「留学生が語る母国のこと」というテーマで卓話していただきました。チュックさんが日本で暮した5年間の経験に基づいた広い視野で日本とベトナムとの架け橋になってくれる

こと期待しながら、お話を聞きました。

年間実績です

- ・ロータリー財団への寄付<1人150ドル以上> 当クラブ特別寄付金 6名 950ドル(130,300円)
- ・ポリオプラスへの寄付<1人3ドル以上>
- ・ロータリー平和センターへ<1人500円以上>
- ・米山奨学会への寄付<1人普通寄付金3000円と特別寄付金合せて20,000円以上>

特別寄付は10名 330,000円

以上加藤年度の報告です。ご協力をいただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

寄付はいつでも受け付けておりますのでよろしく申し上げます。

次週のプログラム : 7月 6日 「新役員の方針挨拶」 会長・副会長・幹事
次々週のプログラム: 7月13日 「新委員長挨拶」 各委員長